

最近の管内経済概況

(2023年8月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

○生産活動は、弱い動きとなっている。

○個人消費は、緩やかに改善している。

○観光は、改善している。

○公共工事は、増加した。

○住宅建設は、弱い動きとなっている。

○民間設備投資は、増加している。

○雇用動向は、弱含んでいる。

○企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2023年10月19日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2023年10月現在)

発表月	2023年5月	6月	7月	8月	9月	10月	前月との判断比較
総括判断	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	<u>緩やかに持ち直している</u> (↗)	緩やかに持ち直している	
生産活動	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
個人消費	持ち直している	持ち直している	持ち直している	持ち直している	<u>緩やかに改善している</u> (↗)	緩やかに改善している	
観光	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	<u>改善している</u> (↗)	改善している	改善している	
公共工事	減少した	<u>増加した</u> (↗)	増加した	増加した	<u>減少した</u> (↘)	<u>増加した</u> (↗)	
住宅建設	弱まっている	弱まっている	弱まっている	弱まっている	<u>弱い動きとなっている</u> (↘)	弱い動きとなっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	緩やかに持ち直しの動きがみられる	<u>弱含んでいる</u> (↘)	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企業倒産	件数は増加、負債総額は減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも減少した	件数は増加、負債総額は減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正  据え置き  下方修正

生産活動 ～ 弱い動きとなっている ～

8月の鉱工業生産は、前月比+1.2%と2か月ぶりに上昇した。前年同月比は▲3.6%と16か月連続で低下した。上昇業種は、金属製品工業など7業種となった。低下業種は、鉄鋼業など8業種となった。

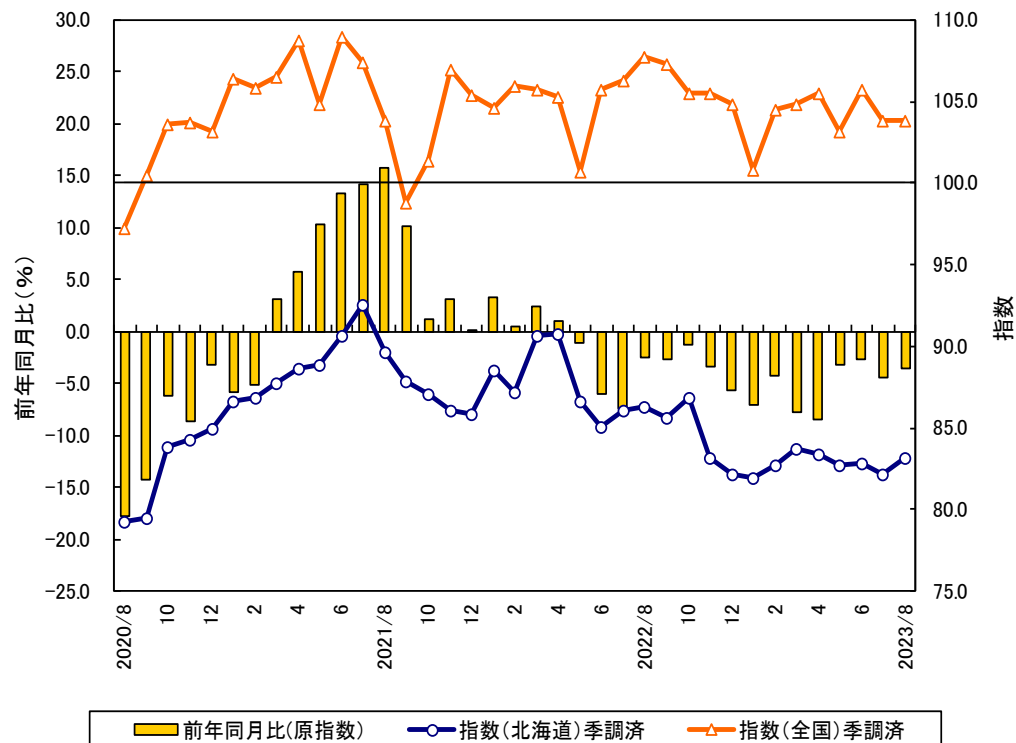
< 8月 >

季節調整済指数

北海道（速報） 83.2（前月比+ 1.2%）

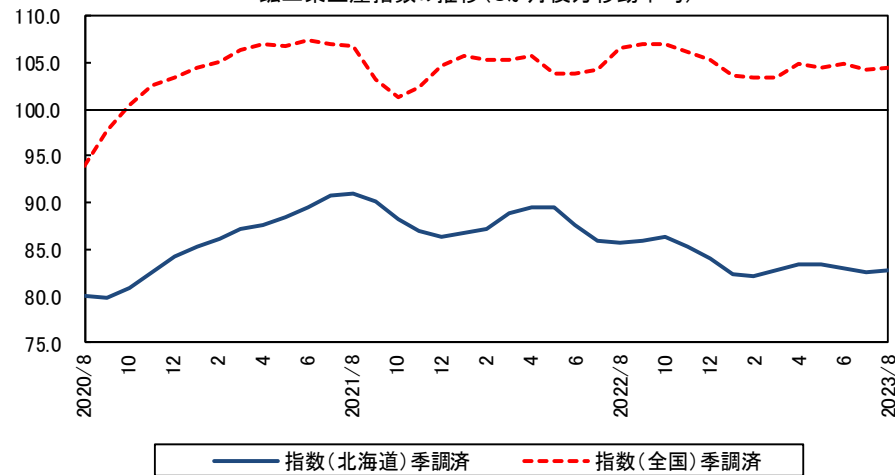
全 国（速報） 103.8（前月比± 0.0%）

鉱工業生産指数（2015年=100.0）※全国は2020年基準



	業 種	前月比 (%)	前年同 月比(%)	主な品目
上昇 7業種	金属製品工業	+ 47.3	+ 16.3	橋りょう
	一般機械工業	+ 17.0	+ 9.2	一般機械
	パルプ・紙・紙加工品工業	+ 6.2	▲ 6.8	洋紙
低下 8業種	鉄鋼業	▲ 17.0	▲ 18.5	鋼半製品

鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均)

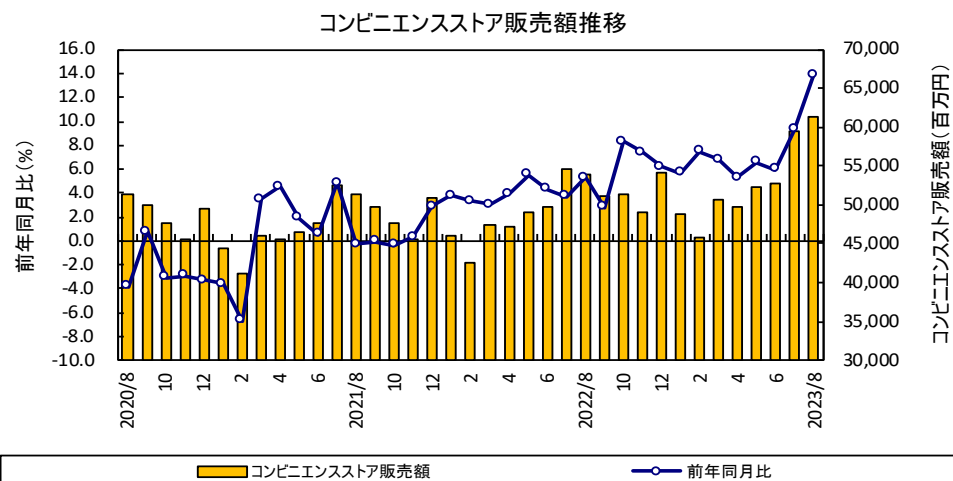
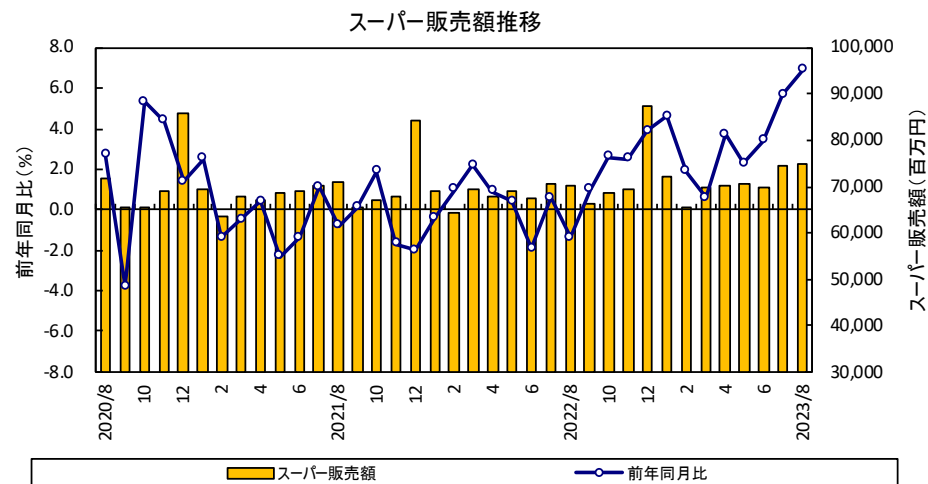
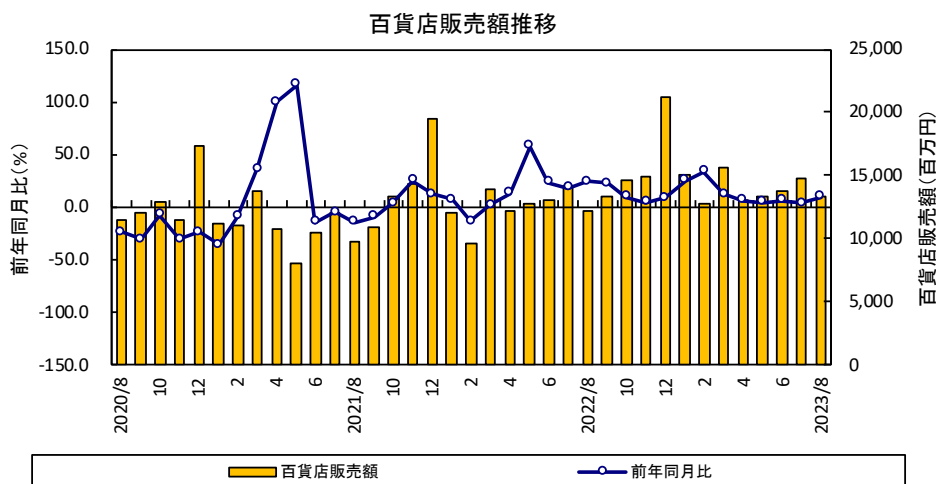


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 緩やかに改善している ～

8月の個人消費は、ホームセンターが前年を下回ったものの、他の6業態は前年を上回った。

- ・百貨店は、身の回り品と飲食料品の売上げが好調で、前年同月比+9.8%と18か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、飲食料品の売上げが好調で、同+6.9%と12か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+13.8%と22か月連続で前年を上回った。

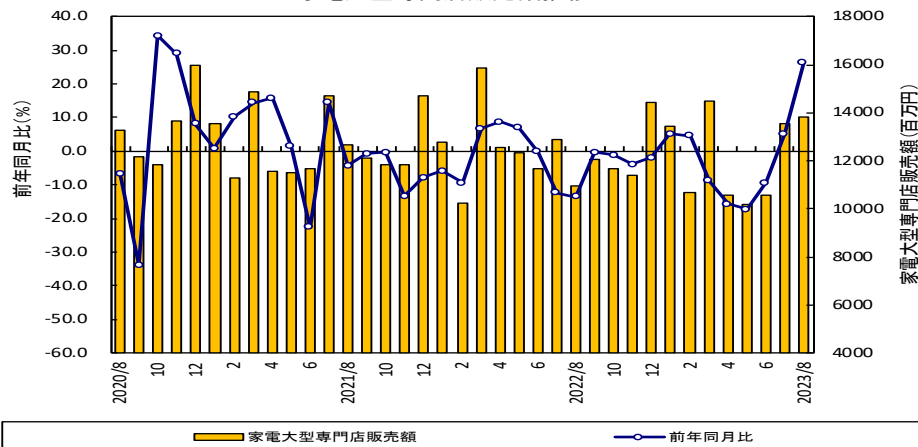


【ヒアリング内容】

- ・ワンピースなど夏物衣料のほか、日傘などUV対策の商品が好調だった。一方で真夏日が続いたことから、例年だとお盆過ぎから売れ始める秋物衣料への関心が低かった。インバウンドでは高級ブランドの商品や菓子類の売上げが好調なほか、化粧品も伸長した。(百貨店)
- ・真夏日が続いたことから、飲料やアイスのほか、涼味関係や惣菜の売上げが良かった。また、お盆期間の影響やイベントが増えたことから客数が増加し、売上げが好調だった。一方で、お客様の節約志向は続いており、特にディスカウントストアの売上げが大幅に伸長した。(スーパー)
- ・真夏日が続いたことから、飲料やアイスの売上げが好調なほか、家庭内調理を避ける傾向から惣菜の売上げが好調だった。また、イベント等の開催が多く、おにぎりなどの売上げも良かった。(コンビニエンスストア)

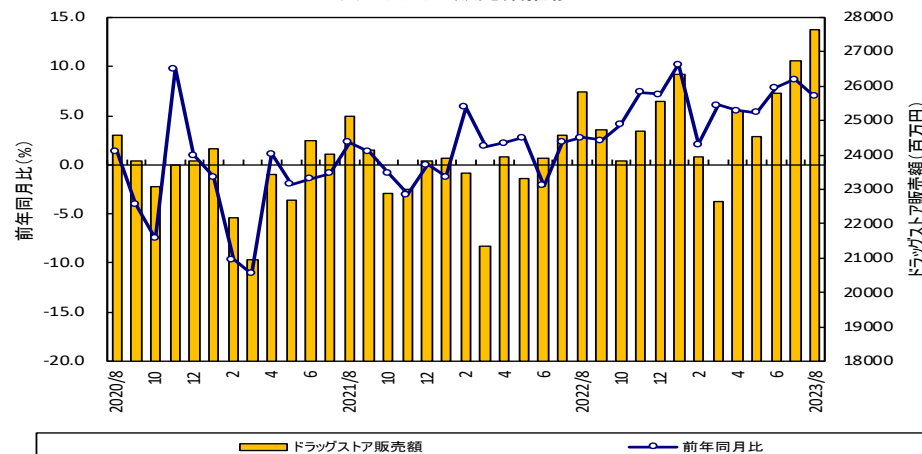
- ・家電大型専門店は、同+26.3%と2か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+7.0%と14か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲0.2%と2か月ぶりに前年を下回った。
- ・新車販売は、同+11.4%と2か月ぶりに前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



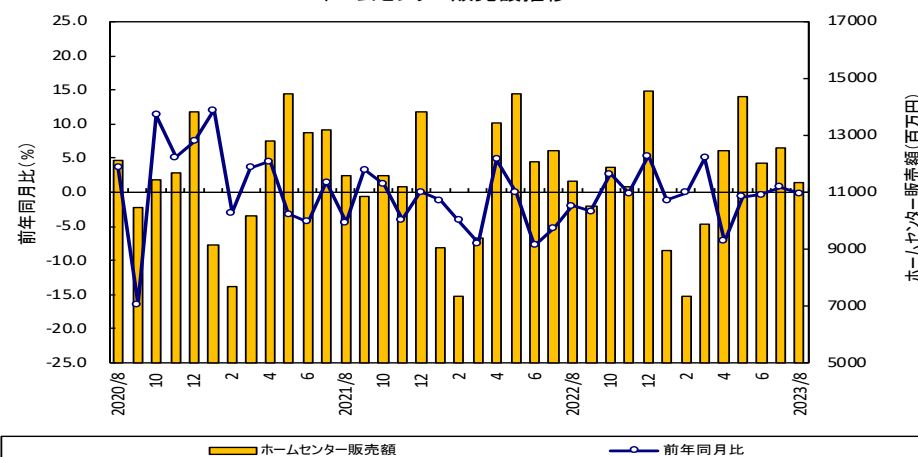
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

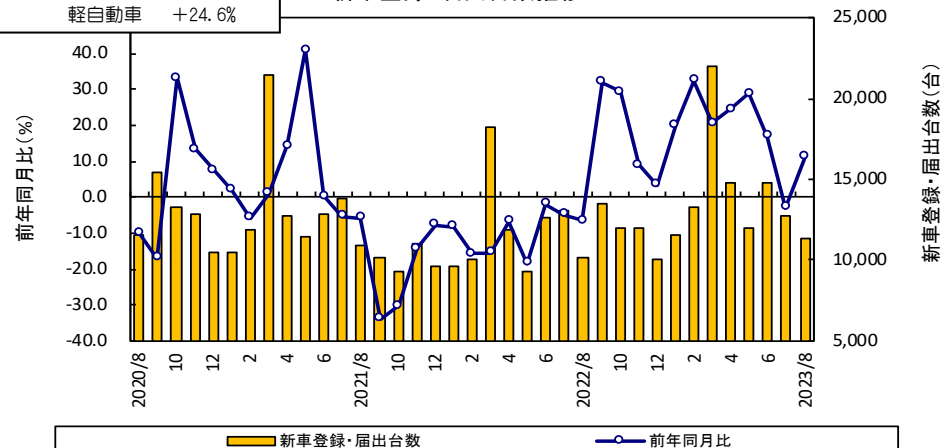
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

< 8月 > 普通乗用車 + 4.6%
小型乗用車 + 7.0%
軽自動車 + 24.6%

新車登録・届出台数推移



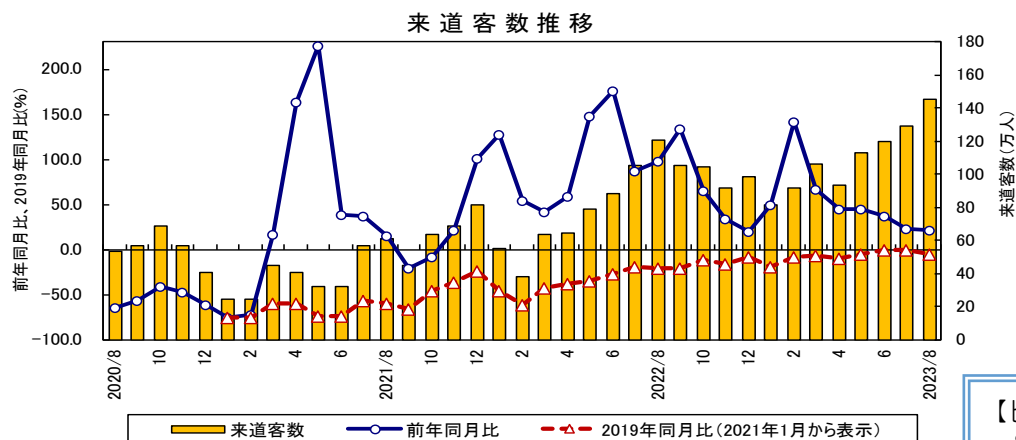
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- ・真夏日が続いたことから、エアコンや扇風機を購入目的とする来店客が多く、売上げが好調だった。客数が増加したことで冷蔵庫や洗濯機など他の商品の売上げも良かった。（家電大型専門店）
- ・先月に引き続き気温が高く、UVケアや制汗剤など季節性商品が好調なほか、飲料やアイスの売上げが好調だった。（ドラッグストア）
- ・真夏日が続いたことから、エアコンや扇風機のほか、冷感素材の衣料品やネッククーラーなどの冷感グッズの売上げが良かった。一方で、暑い日が続いた影響で外での作業が必要となる園芸用品や植物の売上げは前年を下回った。（ホームセンター）

観光 ～ 改善している ～

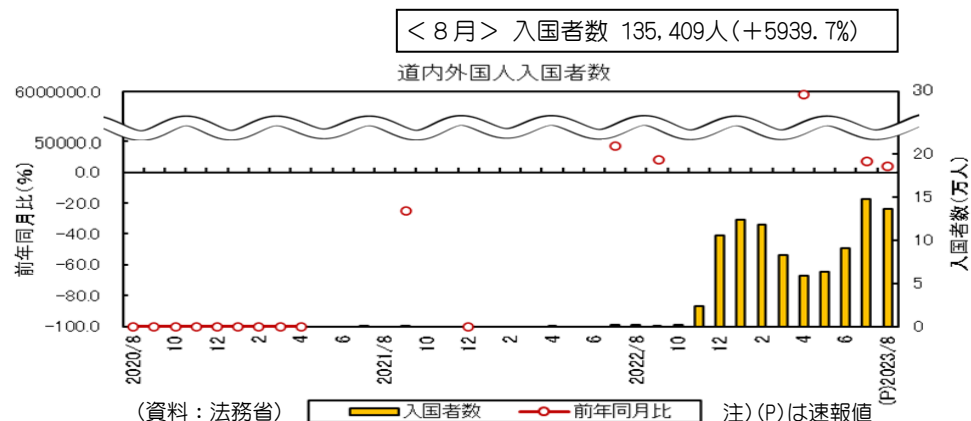
8月の来道客数は、前年同月比+20.7%（2019年同月比▲5.0%）と22か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、135,409人（前年同月差+133,167人）であった。



< 8月 > 来道客数 1,454,504人 (+20.7%)

※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

（資料：（公社）北海道観光振興機構）

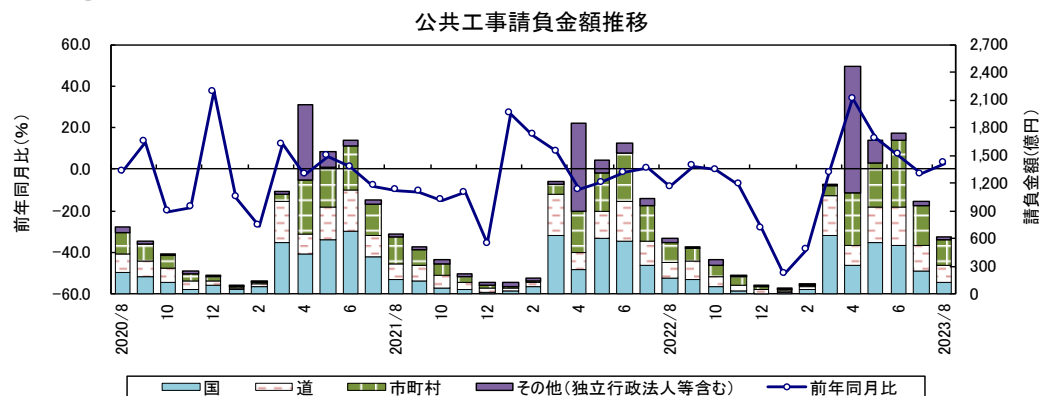


【ヒアリング内容】

- 8月の夏休みやお盆時期は、道内外から少人数の若者グループや親子連れの観光客が多かったほか、全国高校総体の参加者が観光している姿もみられ、土産物屋の売上げや宿泊施設の稼働率も前年を上回り好調だった。9月は道外からの観光客に加え、修学旅行生の姿もみられた。インバウンドは、引き続き韓国、台湾、香港からの観光客が多いものの、期待された中国人団体ツアー客はまだみられなかった。（観光協会）

公共工事 ～ 増加した ～

8月の公共工事請負金額は、国は前年を下回ったが、道、市町村は前年を上回り、前年同月比+2.9%と2か月ぶりに前年を上回った。



< 8月 >

北海道 + 2.9%

(内 訳)

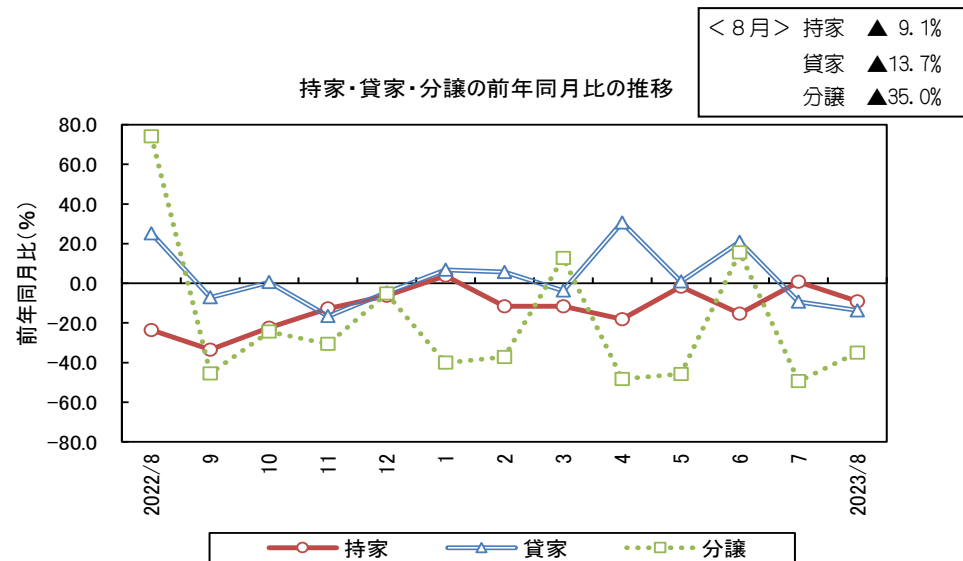
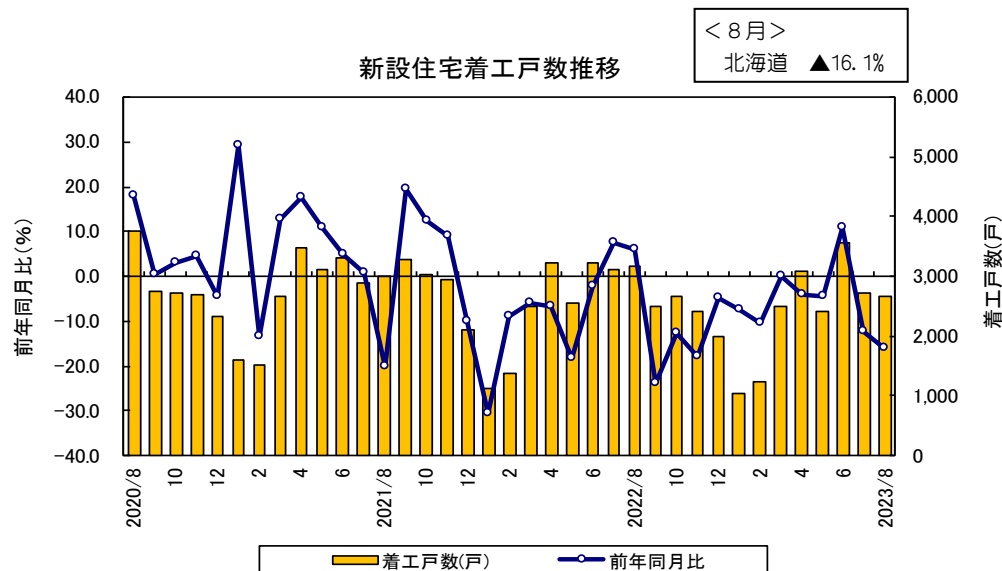
国 ▲23.3% 道 +11.7% 市町村 +19.0% その他 ▲20.3%

（請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額）

（資料：北海道建設業信用保証（株）ほか2社）

住宅建設 ～ 弱い動きとなっている ～

8月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲全てで前年を下回り、前年同月比▲16.1%と2か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2023年度の設備投資計画は、全体で前年度比+0.8%と2年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2023年10月2日発表

	2022年度	2023年度
北海道	+ 11.3%	+ 0.8%
製造業	+ 25.6%	+ 24.8%
非製造業	+ 6.8%	▲ 7.9%
全国	+ 9.2%	+ 13.0%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2023年9月13日発表

	2022年度	2023年度
全産業	+ 26.0%	▲ 11.4%
製造業	+ 34.7%	+ 13.9%
非製造業	+ 24.0%	▲ 17.9%

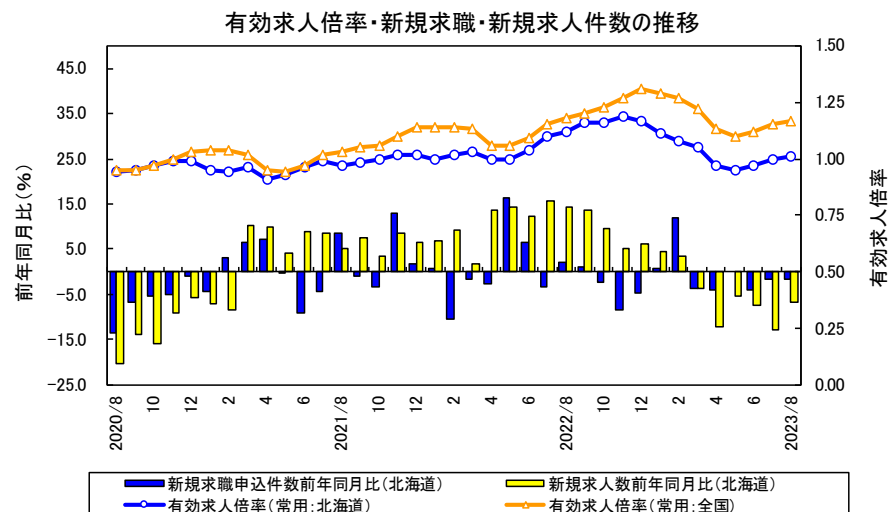
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

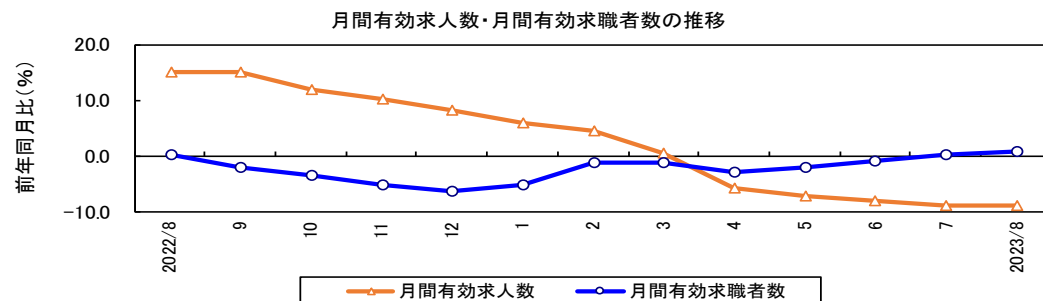
雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

8月の有効求人倍率は、1.01倍と前年同月差0.11ポイント低下し、5か月連続で前年を下回った。



< 8月 >			
北海道	有効求人倍率(常用)		1.01倍
	新規求職人数(前年同月比)	▲	6.7%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲	1.6%
	有効求人倍率(常用)		1.17倍
全 国			

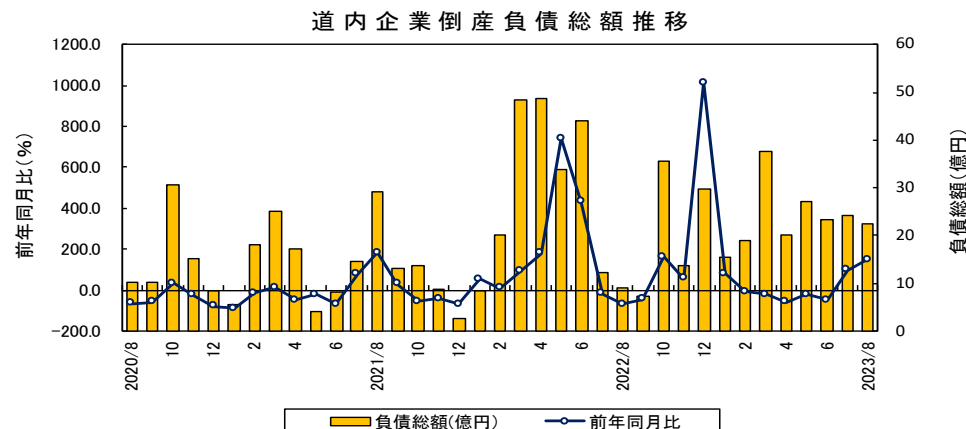
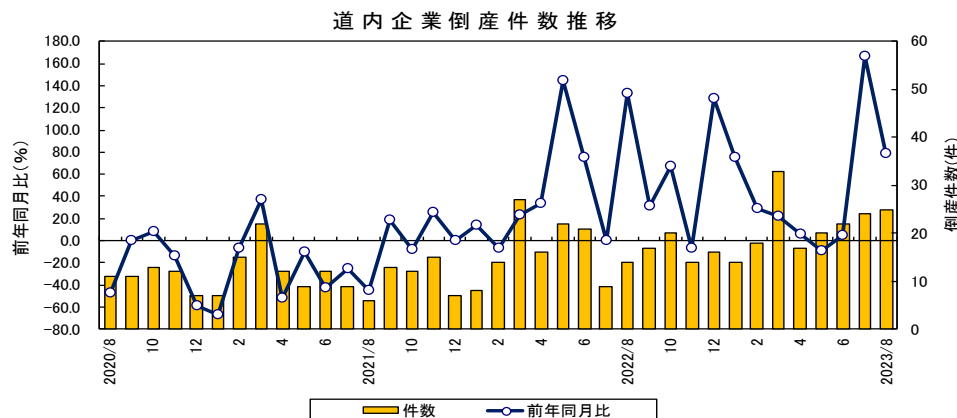
< 8月 >			
月間有効求人	人数(前年同月比)	▲	8.8%
	月間有効求職者数(前年同月比)	+	1.0%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した ～

8月の倒産件数は25件で、前年同月比+78.6%（11件増）と3か月連続で前年を上回った。また、負債総額は22.5億円で、同+148.1%と2か月連続で前年を上回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)